

第 59 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会開催ご案内

総会開催にあたって

会 長 大崎 敬子
(杏林大学医学部予防医学教室)

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、2026 年（令和 8 年）1 月 30 日（金）、31 日（土）の両日、第 59 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会を東京都三鷹市にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

日本無菌生物ノートバイオロジー学会 (Japanese Association of Germfree Life and Gnotobiology: JAGG) は 1968 年に設立され、半世紀以上にわたって無菌生物学・ノートバイオロジー (Gnotobiology) という視点で、医学、理学、農学、薬学、歯学、栄養学、獣医学、繊維学など多彩な領域の報告が積み重ねられてきました。本学会の特徴は、基礎と臨床の研究者が一堂に会して、自由なディスカッションを行うことであり、新しい時代に向かって新たな飛躍が期待されています。

今回の総会では、未来へ繋ぐ無菌生物ノートバイオロジーを展望する を開催テーマとして、特別講演、シンポジウム 1 題、ミニシンポジウム 1 題、技術セミナー、一般演題から構成いたしました。会員の皆様には奮ってご参加いただき、多くのご発表とご議論をいただけますようお願い申し上げます。

会 期 2026 年（令和 8 年）1 月 30 日（金）、31 日（土）

会 場 三鷹産業プラザ

〒181-8525 東京都三鷹市下連雀 3-38-4

Tel 0422-40-9669（代）

参加費 7,000 円 学生会員 2,000 円

懇親会費 3,000 円

日 程 （一部変更の可能性あります）

会 場	1 月 30 日（金）	1 月 31 日（土）
産業プラザ 7 階 会 議 室(703-705)	12:45-13:15 開会の辞、総会 13:15-14:20 一般演題 14:20-15:45 技術セミナー 16:00-17:00 特別講演 17:00-18:00 ミニシンポジウム 18:10-18:20 記念写真撮影 18:30-20:00 懇親会	9:00-10:00 一般演題 10:00-12:00 シンポジウム 佐々木正五 賞 受 賞 式 閉会の辞

特別講演 「IgA 抗体の役割と医療への応用」新藏 礼子先生（東京大学定量生命科学研究所）

シンポジウム 「宿主に備わる細菌叢」 オーガナイザー 米澤英雄（東京歯科大）

石井さなえ（杏林大）

ミニシンポジウム「無菌生物ノートバイオロジー研究の新展開」

無菌生物学技術セミナー 花澤麻美（実中研、トランスレーショナルリサーチ部門）

神谷 茂 （杏林大）

一般演題申し込み

a. 対象

本学会会員

一般演題の演者と共同発表者は本学会会員であることを要します。未入会の方は日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所へ入会の手続きをしてください。無菌生物学・ノートバイオロジーに関する新しい知見を有する研究で未発表のものに限ります。

b. 締め切り日

2025 年（令和 7 年）11 月 14 日

c. 申し込み方法

MS-Word で読み込み可能な文書ファイルで申し込み書を作成の上、E-mail に添付して、以下の総会事務所アドレスへお送りください 2 週間以内に返信のない場合には学会事務所にお問い合わせください。

59jagg@ksot.kyorin-u.ac.jp

d. 申し込み書

①演題、②発表者（演者の前に○をつけてください）、③所属、④抄録、⑤英文演題、⑥英文発表者、⑦英文所属、⑧英文抄録、⑨演者連絡先、氏名、生年月日、⑩ TEL、⑪ FAX、⑫ E-mail を明記してください。①～⑧を「抄録集」B5 版見ひらき 2 頁（和文と英文）に印刷します。

e. 略 語

本学会の会員構成は広範な領域にわたっています。略語（abbreviation）は初出のところに「略さない形」（full term）をお示しください。

本学会の会員構成は広範な領域にわたっています。略語（abbreviation）は初出のところに「略さない形」（full term）をお示しください。

例)

第52回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会一般演題申し込み書（2018年10月10日）	
①演 題	<i>Helicobacter pylori</i> の自由生活性アメーバ共培養系における生存性の向上
②発 表 者	○北条 史*, 大崎 敬子**, 米澤 英雄**, 花輪 智子**, 蔵田 訓**, 山口 博之***, 神谷 茂***
③所 属	(*杏林大学大学院医学研究科共同研究施設部門実験動物施設部門, **杏林大学医学部感染症学講座, ***北海道大学保健科学研究所病態解析学講座)
④抄 録	(1,200字以内) I. 目的（または はじめに、背景等） <i>Helicobacter pylori</i> は胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍の起因菌であり…… II. 材料（または対象）と方法 <i>A. castellanii</i> Neff 株は6-well マイクロプレートに…… III. 結果、考察、結論 共培養系をインキュベーターに静置して……
⑤英 文 演 題	Survival of <i>Helicobacter pylori</i> in co-culture with <i>Acanthamoeba castellanii</i> and their expressions of bacterial genes
⑥英文発表者	○FUHITO HOJO*, TAKAKO OSAKI**, HIDEO YONEZAWA **, TOMOKO HANAWA**, SATOSHI KURATA **, HIROYUKI YAMAGUCHI*** and SHIGERU KAMIYA*,***
⑦英 文 所 属	*Institute of Laboratory Animals, Graduate School of Medicine, Kyorin University, Mitaka **Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine, Mitaka ***Department of Medical Laboratory Science, Faculty of Health Science, Hokkaido University, Sapporo
⑧英 文 抄 録	(250 words 以内) <i>Helicobacter pylori</i> is a causative agent for gastritis, gastric ulcers, and duodenal ulcers. Almost 50% of the world's population harbor this gram-negative microaerophilic bacteria...
⑨演 者	連絡先、氏名、生年月日 〒181-8611 東京都三鷹市…… 杏林大学…… 北条 史 (19……年…月…日生)
⑩ TEL	0422-47…… 内線……
⑪ FAX	0422-44……
⑫ E-mail	……@ks.kyorin-u.ac.jp

・演題の採否はご一任くださいますようお願い申しあげます。演題が採択されましたら、機関誌「無菌生物」のプロシーディングスとして掲載する原稿をご提出いただきます。詳しくはお申し込み後にご案内いたします。

日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-12

公益財団法人実中研 小倉智幸

TEL 044-201-8520 Fax 044-201-8521

E-mail : jagg@ciea.or.jp